

令和3年度 活動紹介票

団体名	みやこ映画生活協同組合	代表者 職・氏名	理事長 尾山 健二
住所	岩手県宮古市熊野町1-5	電話	0193-64-5588

事業内容

助成区分		復興枠
事業名称		映像文化によるコミュニティ形成事業
主な活動地域		宮古市、釜石市、大船渡市、陸前高田市、久慈市、山田町、大槌町、盛岡市、遠野市
取組概要	目的	・地域の学生が上映会を企画運営することで、成功体験や仲間同士の交流を通し、豊かな心を育むと共に将来地域を支える若者達の育成につながる。・気軽に参加できる映画でストレス解消などの心の健康や孤立防止も期待できる。声を掛け合い上映準備などすることで交流でき、コミュニティ形成につながる。また、街中の施設に集まることで、新たな交流が生まれる。地域全体で集まり交流できる場を作り、楽しみながら「暮らしの再建」と「心豊かな生活」の実現を目指す。
	内容	●学生企画・体験上映会 釜石高校企画：11/21釜石市チームスマイル釜石PIT6名、宮古短期大学企画：12/5DORAホール64名 ●被災地上映会と交流サロン活動 〈久慈市〉10/14,11/30宇部市民センター計37名、10/27,12/16久慈市情報交流センター計19名 〈宮古市〉8/11陸中ビル7名、10/18,12/6鯉ヶ崎公民館計48名、12/9カフェ風8名、12/22,2/10田老公民館計27名 〈釜石市〉10/29,2/25釜石公民館(青葉ビル)計72名、12/23,2/3鶴住居公民館計35名 〈大船渡市〉10/28,1/27三陸町南区会館計19名、11/17,1/26森っこ・洞川原集会所計22名 〈陸前高田市〉11/25、1/25今泉コミュニティセンター計41名、12/14旧矢作中学校19名 〈山田町〉10/16,12/4田の浜コミュニティセンター計48名、11/26,1/28織笠コミュニティセンター計24名 〈大槌町〉10/11,11/24吉里吉里公民館計48名、12/26,3/23波板交流促進センター計17名 ●地域映像祭 2/6宮古市シネマ・デ・アエルのべ60名、2/13大船渡市リアスホールのべ69名、2/20釜石市チームスマイル釜石PITのべ46名、2/27盛岡市おでってホールのべ64名、3/6遠野市民センター中ホールのべ50名、3/13久慈市アンバーホールのべ92名
	成果 (将来計画)	【直接的な効果】●学生企画・体験上映会は2地域の2つの学校の学生14名が参加し、企画上映会は2地域×1回実施し参加者は合計70名だった。 ●被災地上映会と交流サロン活動は7地域16ヶ所29回実施し参加者は合計491名だった。 ●地域映像祭は6地域×1回実施し参加者は合計381名だった。 【波及的効果】学生企画・体験上映会では学生が自ら企画運営することで成功体験や仲間同士や地域住民との交流が生まれ、さらに地域で活動することに喜びを感じることで地域の復興、発展を支える若者の育成につながった。被災地上映会と交流サロン活動では、コロナ禍でも有り、交流が難しい中、皆で映画を楽しみストレス解消など心の健康につながった。住民同士声かけあって参加し、上映会準備などに関わることで交流が図られコミュニティ形成につながった。また、市内中心街の公共施設等を利用した上映会では、親子連れや、施設利用者に楽しんでもらえ、交流のきっかけとなった。地域映像祭では、新たな上映地域で開催し、他地域からの参加者増で交流人口を増やし、多くの人に岩手ゆかりの映画を鑑賞してもらうことで、あらためて、震災や地域について考えるきっかけとなった。
事業費(千円)		3,946千円(うち補助金3,550千円)



▲釜石公民館(青葉ビル)上映会の様子



▲宮古短期大学企画上映会の様子